

「外為オプション取引説明書」新旧対照表

平成26年3月20日

( 下線部分変更)

| 新  | 旧  |
|--|--|
| <p>12. 取引価格</p> <p>外為オプション取引では、各権利行使価格についてペイアウト額を1,000円とした場合の取引価格を提示します。取引価格は、オプションの価値を表すものであり、プレミアムあるいはオプション料とも呼ばれます。</p> <p>取引画面上には、お客様がオプションを購入する場合の取引価格（購入価格）と、お客様が購入したオプションを転売する場合の取引価格（売却価格）の両方が提示されますが、2つの価格の間にはスプレッドがあります。</p> <p>※取引価格の呼値の単位は、各通貨ペアとも1円です。</p> <p>※取引価格は、オプション取引の理論モデルのひとつである「ブラック・ショールズモデル」を修正した計算モデルに基づいて算出されます。「ブラック・ショールズモデル」では、原資産価格（外国為替相場）、権利行使価格、ボラティリティ（相場変動率）、権利行使期間（期限までの残存時間）、対象通貨の金利が取引価格の決定要素となっており、これらの変化により取引価格も変動します。理論的には、権利行使条件が同一となっているコールオプションとプットオプションの取引価格の和はペイアウト額と等しくなりますが、実際の取引価格の算出にあたっては、ヘッジ取</p> | <p>12. 取引価格</p> <p>外為オプション取引では、各権利行使価格についてペイアウト額を1,000円とした場合の取引価格を提示します。取引価格は、オプションの価値を表すものであり、プレミアムあるいはオプション料とも呼ばれます。</p> <p>取引画面上には、お客様がオプションを購入する場合の取引価格（購入価格）と、お客様が購入したオプションを転売する場合の取引価格（売却価格）の両方が提示されますが、2つの価格の間にはスプレッドがあります。</p> <p>※取引価格の呼値の単位は、各通貨ペアとも1円です。</p> <p>※取引価格は、オプション取引の理論モデルのひとつである「ブラック・ショールズモデル」を修正した計算モデルに基づいて算出されます。「ブラック・ショールズモデル」では、原資産価格（外国為替相場）、権利行使価格、ボラティリティ（相場変動率）、権利行使期間（期限までの残存時間）、対象通貨の金利が取引価格の決定要素となっており、これらの変化により取引価格も変動します。理論的には、権利行使条件が同一となっているコールオプションとプットオプションの取引価格の和はペイアウト額と等しくなりますが、実際の取引価格の算出にあたっては、ヘッジ取</p> |

| 新   | 旧  |
|---|--|
| <p>引に係るリスクプレミアム等を加味して取引価格を算出しますので、理論価格とは異なる値となります。また、同様の理由から、取引価格のスプレッドも変化します。なお、取引価格と各変数との相関関係については、当社ホームページ内にも説明がありますので、ご参照ください。</p> <p>※オプションの理論価格の計算に用いられるボラティリティには、ヒストリカル・ボラティリティ（原資産に対する過去の変動率の実測値に基づくボラティリティ）とインプライド・ボラティリティ（原資産に対する将来の変動率を予測したボラティリティで、実際に市場で取引されているオプションの価格から逆算した値）がありますが、店頭通貨バイナリーオプション取引ではオプション価格を常時参照できる市場がないため、外為オプション取引の取引価格の算出時にはヒストリカルボラティリティを使用します。</p> <p>※外国為替相場の急変やインターバンク市場における流動性の低下等の状況によっては、取引価格のスプレッドが広がる場合があります。</p> <p>※取引価格が0円またはペイアウト額と同額（1,000円）となる場合があります。</p> <p>※取引価格が0円または1000円のと看に行う取引は、経済合理性を欠くものとなります。</p> <p>※取引価格が1,000円のと看には約定がつかない場合がございます。</p> <p>※取引約定時には、取引画面に表示されている取引価格と約定価</p> | <p>引に係るリスクプレミアム等を加味して取引価格を算出しますので、理論価格とは異なる値となります。また、同様の理由から、取引価格のスプレッドも変化します。なお、取引価格と各変数との相関関係については、当社ホームページ内にも説明がありますので、ご参照ください。</p> <p>※オプションの理論価格の計算に用いられるボラティリティには、ヒストリカル・ボラティリティ（原資産に対する過去の変動率の実測値に基づくボラティリティ）とインプライド・ボラティリティ（原資産に対する将来の変動率を予測したボラティリティで、実際に市場で取引されているオプションの価格から逆算した値）がありますが、店頭通貨バイナリーオプション取引ではオプション価格を常時参照できる市場がないため、外為オプション取引の取引価格の算出時にはヒストリカルボラティリティを使用します。</p> <p>※外国為替相場の急変やインターバンク市場における流動性の低下等の状況によっては、取引価格のスプレッドが広くなったり、取引価格が0円またはペイアウト額と同額（1,000円）となる場合があります。</p> <p>※取引価格が0円または1,000円のと看に行う取引は、経済合理性を欠くものとなります。</p> <p>※取引約定時には、取引画面に表示されている取引価格と約定価格との間に差異（スリッページ）が発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。（スリッページについては、後述「17. 注文の受付・執行方法及びスリッページについて」をご参照</p> |

| 新  | 旧             |
|--|---------------|
| <p>格との間に差 異（スリッページ）が発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。（スリッページについては、後述「17. 注文の受付・執行方法及びスリッページについて」をご参照ください。）</p> | <p>ください。）</p> |